



かがやけ

佐世保市立猪調小学校
文責 校長 鶴田 和久

バリアフリー学習

猪調小学校の4年生は、総合的な学習の時間に「ふくし」についての学習を行ってきました。社会福祉協議会の方にお世話いただいて実施できた「バリアフリー館」見学をはじめとした学習です。その学習の一環として、障がいのある方に猪調小学校へ来校していただき、お話を聞いて学習する活動も行いました。それらの活動をとおして、普段はなかなか意識をしない日常生活の中にあるバリアについて、生の声を聞かせていただき、貴重な学習をさせていただいています。

今回は、この4年生の学習活動の一端を紹介することで、なかなか全体像がつかみにくいと思われる総合的な学習の時間についてお知らせしたいと思います。

点字・アイマスク・白杖・盲導犬体験

1回目の学習は、9月27日。田平町に在住されている大津かほるさんと盲導犬のヴィーノを講師としてお迎えし、視覚に障がいがある方の生活について学習を行いました。

大津さんは、高校1年生の時に緑内障により両眼の視力を一度に失われたそうで、その後、学ばれた点字による読み書きは、とても難しいものであったと語られました。

その他にも表情を読み取ることができないために苦労をされた子育てのお話。子どもの体調が悪い時にもかつては体温計を読みとることができずに困ったことなども話していただきました。

現在は、音声による読み上げ機能がついた体温計や時計。色を識別してくれるカラリーノ。いっぺんに流れ出ることがないように作られた醤油差し。点字で色や形のメモを挟んで行う洋服の管理。同じく点字がついたトランプ。牛乳パックにある切れ込み。プッシュホンの5についた突起。パソコンの画面を読み上げてくれるソフトなどのように、「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」と呼ばれている設計がなされている日常品についてお話をされ、目が見えないことによる日常生活での困ったこととそれを解決してくれる工夫ある品物を教えていただきました。

また、日頃から心がけていることとして使ったものはきちんと元の場所に戻し、探さなくても良いようにしていることについても触れられ整理整頓の大切さを伝えていただきました。

そして、見えない人のめがねやコンタクトの代わりをしてほしい。どんなことをすればよいかというと、「声かけ」をしてほしい。その「声かけ」がめがねやコンタクトの役割をしてくれて、視覚に障がいがある人にとって、ものすごく力を与えてくれるものであること。お年寄りや障がいがある人にとって、周りの人の声かけはすごい力を持っていることを忘れないでほしいと。

他に、現在のようにヘルパーの制度が充実していない頃は、一人で移動する、外出することは非常に困難であった。そのような時に大きな力となってくれたのは、盲導犬との出会いだとも語られました。

子どもたちは、大津さんのお話、一つ一つに声を上げたり、うなずいたりしながら、貴重な学習を自分たちなりに受け止めているようでした。



ハーティラダーって、すごいなあ！

2回目の学習は、1月29日。鹿町町在住の吉村隆樹さんに学校に来ていただき、脳性麻痺のために、はなしことばや手足の機能等に障がいがある方の生活について学習しました。

お話はプロジェクターでマイボイスという吉村さんが作成されたソフトを使用して行われました。このソフトは、パソコンに入力した文字をあらかじめ登録している音声に読み上げさせるものです。最初は、吉村さんご自身の声で始められ、主立った部分はその他の音声合成ソフトで話をされました。

その中で、吉村さんは、パソコンのプログラムを行う仕事をされているそうですが、そのプログラムを作ることによって「ありがとう」と多くの人に感謝をされる。感謝をされると、誰かの役に立っていると思うと何か幸せな気持ちになる。このように誰かの役に立ちたいから仕事をしているとお話されました。

また、ご自身が小さい頃は地元の学校で教育を受けることができなかったが、最近は地元の学校で教育を受けることができるようになったと聞いている。そのような子どもと出会った時は、特別なことをする必要はない。ただ、仲間の一人として他の友だちと同じように接してほしい。その子も、そうされることが嬉しいのだとも話されました。

そして、誰かとコミュニケーションをとることはとても大切なこと。コミュニケーションができないなんて考えられないとお話されました。でも、障がいのためうまくコミュニケーションができない人がいることも。

「ハーティラダー（心のかけはし）」というパソコンのソフトがあるそうです。キーボードが打てなくても視線の動きで、パソコンに文字を入力できるソフトです。このソフトの開発者が、吉村さんということでした。

これらの話を伺った後、子どもたちは、実際にハーティラダーや車椅子の体験学習を行いました。

この学習の後に、子どもたちが書いた感想の抜粋を数名分ですが、以下に紹介します。

- ・私は、吉村さんから学んだことが幾つかあります。一つ目は、みんなとのコミュニケーションを大切にすることです。二つ目は、あきらめないことです。吉村さんみたいに明るい人になりたいです。
- ・私は、最後に吉村さんが話されたように「人の気持ちが分かる人」になれるようにがんばろうと思います。
- ・車いす体験では、段差があるところでは声をかけることや下りの坂は後ろ向きでいくことが大事だと分かりました。将来の夢は、介護士なので今日の学習を生かして優しくお手伝いしたいと思います。



いかがだったでしょうか。4年生の「ふくし」にかかわる総合的な学習の時間を使っ
た活動は、もちろん、紹介させていただいた内容はこの学習の一部です。これで学習が
終わったわけではありません。今回のこれらの体験をとおして、自分たちを取り巻く社会
の「ふくし」についての課題について自分なりに気づき、どのようにすれば良いのか調
べたり、考えたりします。そして、それぞれの意見を検討し合いながら、よりよい考
えを模索し、まとめていくのです。どんなまとめができるのか、楽しみにしています。